

審査統一基準（五段以下）／平成28年度

段・級位	体配	射法・射技	備考
五段	起居進退は規矩に従い、容儀、態度に落ち着きがある。 形だけでなく息合いと協応している。 和服着用、肌脱ぎ、襷さばきを行う。	三重十文字、五重十文字に崩れない。 大三への受け渡しが適正で、縦線を生かし、引き分けから会にスムーズに運行する。 心気安定・充実し、会深く、詰合い・伸び合いに徹し、離れ鋭く、弦音冴え、残身の気力充実などはプラス評価。 離れの十文字の崩れ、緩む、万歳、切り下げ、送る、離れ出せず力で無理に切るなどはマイナス評価。 体配と相俟って射法、射技の総体に品位、格調現れる。	立射の襷さばきは行わない。
四段	参段に比し、修練の成果が顕著である。 体配正しく、息合いとの協応が意識されている。 矢の処理ができる。 審査の要領に従って正しく行射する。	八節形に適い、息合い伴う。 三重十文字、五重十文字概ね正しく、引き分けからスムーズに運行する。 詰合い・伸び合いに努め、気力の充実が見られる。 手の内の働きよく、離れ・残身に修練の成果が見られるものはプラス評価。 弓返りしない、大きな握り落ちなどはマイナス評価。 的中確実の域に達している。	
参段	氣息整う。 体配、審査の要領、概ね正しい。	射術の運用に気力あり、三重十文字、五重十文字概ね適正。 手の内の働き、矢束・頬付・胸弦・的付け概ね適正。弓返りするのが望ましい。 矢筋に力強い離れ。矢勢よく、残身に気合があるなどはプラス評価。 的中やや確実。	
貳段	体配概ね順序正しくできる。 弓矢の捌き、矢番え、足の運びなど概ねスムーズに行われる。	初段に比して進歩が見られる。 三重十文字、五重十文字概ね整う。 会において伸びようと努め、気力の継続が見られる。 離れの方向、残身概ね良好。 矢所乱れない。的中不問。 筈こぼれは残り1射で評価。2射共にこぼれれば否。（貳段～初段共通）	
初段	動作、姿勢、形整う。 正しい指導を受けていることがうかがわれる。	八節概ね形に適い、運行がスムーズ。 足踏み、胴造りがしっかりしている。 手の内の形ほぼ整う。 会の持満に努め、元気よく離れる。 残心及び弓倒し後の執り弓の姿勢大きく崩れない。 矢枕落ち不問。	
一級	弓矢の取扱いに慣れてきている。 体配間違いなくできる。	八節の形、運行概ね正しい。 多少の体の歪み、離れ・残身における体の動揺は不問。 筈こぼれは、残り1射で判定。2射共にこぼれればもう1射引かせて判定。3回こぼれれば否。（級位共通）	
二級	三級に比し進歩が見られる。 体配順序通りできる。	八節の運行、ほぼ間違いなくできる。	
三級	基本動作を基本通りやろうとする姿勢が見られる。 執り弓の姿勢、弓矢の持ち方、捌き方、矢番え、弓倒しが概ねできる。 八節の運行ができる。		
四級	弓矢の取り扱いに慣れてきている。 矢を安全に飛ばすことができる。		
五級	初歩的段階。 矢を番え、飛ばすことができる。		